

キャッシュレス決済が広く普及する中、自治体でもキャッシュレス決済の導入が進んでいます。千葉市においても、今定例会でキャッシュレス化への補正予算案が提出され、可決されました。

今回、提案されたのは、各区役所市民総合窓口課や市民センターでは、住民票の写しや印鑑登録証明書など、また、東西市税事務所市民税課（若葉区・美浜区）および4市税出張所（中央区・花見川区・稲毛区・緑区）では、所得証明書や納税証明書などの証明書発行手数料の徴収にあたり、キャッシュレス決済に対応したレジが導入されます。令和5年2月から運用開始の予定です。

手数料徴収にあたってのキャッシュレス決済の導入は、新型コロナウイルスの感染症対策および、市民にとって支払いの選択肢が増えることで、現金を準備する手間がなくなり、手続きにかかる時間が少なくなるなど利便性の向上につながります。

今後も、キャッシュレス化が拡充されるよう取り組んでまいります。

区役所窓口などで
キャッシュレス化が！

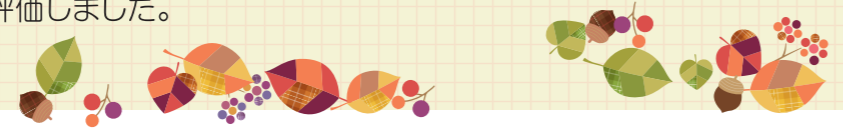


令和3年度決算議案に認定の立場から意見表明！

新型コロナウイルス感染症の影響による個人所得や企業収益の落ち込みから、大幅な減収が避けられなかったこと、国庫補助負担金や地方交付税等については、国の予算編成の動向を見極める必要がある一方で、急速に進展する少子・超高齢化への的確な対応が求められたことから、多額な財政需要が見込まれ、厳しい予算編成でありました。

このような中、一般会計の実質収支が土地売払収入の減収や基金借入金償還額の増加などにより、前年度と比べて、27億4,500万円の減となったものの、29億7,900万円の黒字となりました。

新型コロナウイルス感染症対策や子育て世帯等臨時特別給付金支給事業への的確な対応をはじめ、あんしんケアセンターの後方支援として圏域単位で生活支援コーディネーターを配置し、医療と健康づくりについては、医療用ウィックの購入費助成や妊婦健診の助成回数の拡充、市民生活では、おくやみコーナーのモデル事業を受けて全区役所に配置展開され、里親制度では、NPOとの協働により取り組みの成果が現れてきました。夜間中学の設置については、学習ニーズ調査や説明会など、開校に向けた取り組みが確認できたことを評価しました。



市政に関するご意見やご要望をお寄せください！

年齢・お住まいについて（該当するものに✓をおつけください。）

▶お住い 中央区 花見川区 稲毛区 若葉区 緑区 美浜区

▶年齢 20歳未満 20～39歳 40～59歳 60～74歳 75歳以上

お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立ててまいります。 **FAX.043-245-5584**
公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 <https://chibakomei.com/>

公明党千葉市議会議員団

市議会だより

発行日/令和4年10月 発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1



- 1 市民生活に寄り添った新型コロナウイルス感染症対策への的確な対応
- 2 税源の涵養など自主財源の確保、資産経営への取り組み強化
- 3 市民サービス向上に資する行財政改革への取り組み強化
- 4 防災・減災対策の強化
- 5 文化・芸術・スポーツの振興
- 6 共生社会実現に向けた諸施策の推進
- 7 安心・安全な市民生活に向けた諸施策の拡充
- 8 超高齢社会への対応施策の強化
- 9 健康づくり・医療施策の推進
- 10 障がい児・者支援施策の推進
- 11 子ども・子育て支援事業の推進
- 12 児童生徒の安全対策および安心して学べる教育環境の整備
- 13 生ごみ・プラスチックごみ対策など、ごみ削減・資源循環体制の確立
- 14 物価高騰から生活と事業を守る地域経済支援策の充実・強化
- 15 農政センターリニューアルプランの推進および農業技師の計画的増員
- 16 都市の活性化に向けた取り組みの推進
- 17 病院事業の新たな体制構築

令和5年度予算編成に対する
重点要望を提出！





安心・安全なまちづくり

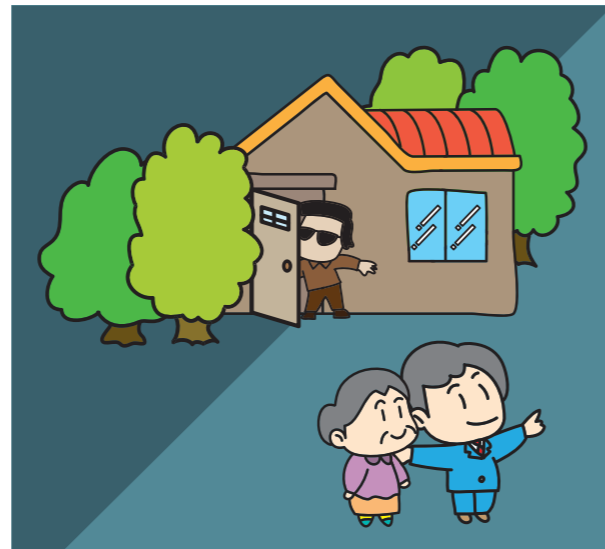
地域別犯罪認知件数のオープンデータ化で防犯対策の強化を

地域の防犯など、安心・安全なまちづくりは、客観的なエビデンスに基づき新たなテクノロジーを活用するなど、的確な対策によって得られるものと考えます。

近年、地域別犯罪認知件数について県警と市と自治会での共有が進んでいますが、より広く市民と共有し、防犯カメラの設置はもとより、客観的な数値に基づき行政・市民も地域防犯活動を推進すべきと考え、本市の見解を伺いました。

市長からは「本市では、ちばし安全・安心メールで配信した犯罪の情報をオープンデータとして市ホームページで提供しています。今後は、関係機関と調整し、町丁別の犯罪件数等の情報についてもオープンデータとして提供を検討していきます。またGIS (Geographic Information System) を活用し、犯罪の情報を地図上で表すなど、分かりやすい情報提供に努め、市民や地域団体等の防犯に対する更なる意識の向上を図ってまいります」との答弁がありました。

③ GIS … 地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ(空間データ)を総合的に管理・加工し、視覚的に表示することで、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。



再犯防止推進計画について

ソフト・ハード面における更生保護事業、更生保護施設の新たな見直しを



これまでの更生保護施設は、刑務所等を出所した人の中で、親族の元など戻る先がない人の衣食住を確保することが中心でしたが、現在では入所者の問題性や犯罪性を除去し、改善更生を促すプログラムなどを実施する処遇施設としての役割が求められており、本市においてもソフト・ハード面における更生保護事業、更生保護施設の新たな見直しを踏まえた支援が必要と考え、今後の取り組みについて伺いました。

市長からは「千葉市再犯防止推進計画の支援の対象としている『犯罪をした人等』の中には、障がい者や独居高齢者、薬物等の依存症の人など、市が提供するサービスの窓口や相談機関につながりづらい方もいます。このため県が実施する矯正施設に在所中から支援対象者と面接し、出所後の福祉的支援につなげる取り組みと連動し、まずは相談を受け止める体制を整え、必要となる保健医療・福祉サービス等の適切な支援に早期につなげてまいります」との答弁がありました。



リトルベビーハンドブックの導入を求めました！

現在の母子健康手帳では、成長曲線や発達の記録が、主に体重1500g未満で生まれた「低出生体重児」向けではないことから、「低出生体重児」が成長する様子を細かく記録できる「リトルベビーハンドブック」を活用する自治体が広がっており、本市としても、子どもを産み育てることに寄り添った取り組みである「リトルベビーハンドブック」を導入すべきと要望しました。

副市長からは「導入している自治体では、対象となるお子さんが少ないなどの理由から都道府県単位で作成しており、千葉県でも県内市町村と協議しながら現在作成に向けた準備を進めています。本市としても早期の作成に向けて県と連携してまいります」との答弁がありました。



男性トイレへのサニタリーボックスの設置を！

トイレの個室に設置されている小さなごみ箱、サニタリーボックスは、男性トイレには無いことが多く、前立腺がんや膀胱がんを患った男性が着用する使用済みの尿漏れパッドなどを捨てる場所に困っているとの声があります。

そこで、安心して外出ができる環境を整えるべく、市有施設の男性用トイレへのサニタリーボックスの設置とともに、民間施設への設置についても働きかけるべきと要望しました。



副市長からは「令和5年1月末に竣工引き渡しを予定している新庁舎には、男性用トイレの全ての個室にサニタリーボックスを設置します。既存施設においては、十分なスペースが無いなど設置が困難な場合がありますが、洗面台などの近くに設置するなど工夫し、整備してまいります。また、民間施設へは周知・啓発を行うなど、関係部局と連携し設置が進むよう取り組んでまいります」との答弁がありました。

グリーンツーリズムの魅力向上の取り組み推進を！



自然を生かしたアウトドアの体験型・滞在型の観光拠点施設である千葉ウシノヒロバの整備や、イチゴ狩り等の収穫体験の「千葉あそび」への掲載など、グリーンツーリズムの推進が図られておりますが、まだまだ認知度が低く、周辺までの道路整備等さらなる魅力向上に向けた環境整備や、地域資源の発掘、観光情報の発信などが課題であり、今後の取り組みについて伺いました。

副市長からは「観光地として初めて来られる方々が安心して快適に訪れることができるよう案内看板の必要性や、エリア内の道路のうち早期修繕を希望する箇所などについて、エリア内の観光施設の管理者などで構成する『グリーンエリアプロモーション委員会』を通じて把握し、道路管理者を含む関係部局が一体となって必要な整備を行います。また、情報発信については、ドライブマップに新たなコースを追加するとともに、千葉市のグリーンエリア(チバノサト)のイメージ動画を作成し、市内の駅など人が集まる場所で放映することで認知度向上に取り組む」との答弁がありました。